

なぜ芸人ジャーナリストと いわれるようになったか

—原発取材から見た世界と日本—

◆講演：おしどり ケン & マコ (芸人ジャーナリスト)

◆司会：岡田浩一 (世界史科講師)

福島第一原子力発電所のメルトダウンはいまだに収束していないが、政府とマスコミは事故の現状を国民と世界に積極的に伝えようとしていない。

よしもとクリエイティブ・エージェンシーに所属する夫婦漫才タレントの「おしどり」さんは、原発事故の影響でテレビ局がお笑い番組を自粛したため、予定の仕事がキャンセルされてしまった。そこでおしどりマコさんは夫のおしどりケンさんと一緒に、福島第一原子力発電所の現状を知るために東京電力の記者会見を取材することにした。テレビ・新聞などの記者から「おしどり」さんは排除されそうになったが、何とか取材活動を開始して現在まで積極的に原発問題の取材を続けている。その妥協のない真剣な取材の姿勢はプロの記者たちさえも認めざるを得ず、向こうから声を掛けられるまでになった。IP PNW (核戦争防止国際医師会議) に招かれドイツとベラルーシに行き、あちこちの教会や学校で原発事故についてや日本の現状について話す機会があった。ドイツの学生たちは原発事故や日本について大変興味があり、質疑応答では質問が止まらなかった。

だが日本では、「おしどり」さんの取材報道を主要テレビ局で目にする機会はない。

テレビでは見ることができないお二人より、原発取材から見た世界と日本の現状について報告してもらうとともに、逆境の中で「生きる力」を学んでいきたい。



●プロフィール おしどり ケン&マコ

ケンとマコの夫婦コンビ。横山ホットブラザーズ、横山マコの弟子。よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属。社団法人漫才協会会員。二人はフォトジャーナリズム誌「DAYS JAPAN」の編集委員。東京電力福島第一原子力発電所事故(東日本大震災)後、随時行われている東京電力の記者会見、さまざまな省庁、地方自治体の会見、議会・検討会・学会・シンポジウムを取材。また現地にも頻りに足を運び取材し、その

模様をさまざまな媒体で公開している。ケンは大阪生まれ、バントマイムや針金やテルミンをあやつる。バントマイムダンサーとしてヨーロッパの劇場をまわる。マコと出会い、ぞっこんになり、芸人に。マコは神戸生まれ、鳥取大学医学部生命科学科を中退し、東西屋ちんどん通信社に入門。アコーディオン流しを経て芸人に。

6月20日(土) 15:30~17:00

秋葉原館 6A教室

〒101-0032 千代田区岩本町3-11-11

☎ 0120-192-115

- JR山手線・京浜東北線・総武線「秋葉原駅」昭和通り口より徒歩4分
- 都営地下鉄新線「岩本町駅」A4出口より徒歩2分
- 東京メトロ日比谷線「秋葉原駅」4番出口より徒歩2分
- つくばエクスプレス「秋葉原駅」A1出口より徒歩5分

入場無料
申込不要

